

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和3年度 第1回 新磯地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		南区役所 新磯まちづくりセンター 電話046-251-5242(直通)				
開催日時		令和3年8月5日(水)～8月19日(木)				
開催場所						
出席者	委員	32人				
	その他					
	事務局					
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	
公開不可・一部不可の場合は、その理由		書面開催のため				
会議次第		<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新磯地区まちづくり会議会則の一部改正について 2 役員の変更について 3 令和2年度活動報告について 4 令和2年度地域活性化事業交付金活用事業について 5 令和3年度新磯地区まちづくり会議検討テーマについて 6 さがみロボット産業特区プレ実証フィールド避難場所環境改善 7 新磯地区防災計画の修正について <p>報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度新磯地区まちづくり会議委員について 2 令和3年度地区まちづくりを考える懇談会の中止について 				

審 議 経 過

(審議を書面で行った理由)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であるため、書面により委員の意見を求め、回答を得る方法で会議の開催に代えることとした。

令和3年8月19日(金)までに意見書提出を依頼したところ、3人の委員より意見がございました。

意見等がない場合は、承認いただいたものとしています。

議題1 新磯地区まちづくり会議会則の一部改正について

了承32件 反対0件

(意見)

- ・芝ざくらの消滅と両団体の解散に至ったことが大変残念です。芝ざくらについては、まだ再生が可能でまだ間に合います。

議題2 役員の変更について

了承32件 反対0件

(意見)

- ・会則8条4項の規定により、利害関係者又は関心が高い者、若しくは出席したいと望む者を出席できるよう、前広に周知し、出来るだけ出席できるようにした方が良いと考えます。

議題3 令和2年度活動報告について

了承32件 反対0件

(意見)

- ・まちづくり会議を構成する役員会及び専門部会を含めて、各会議の内容が明確に分かるように現在の開催内容を充実しては如何でしょうか。例えば議題のみでは理解不足となるため、議論の流れとその結果を追記。(出席人数 /○(23/31)など)

議題4 令和2年度地域活性化事業交付金活用事業について

了承32件 反対0件

(意見)

- ・芝ざくらの廃止、コロナ禍においての大凧まつり中止と、社会全体が大変な中、新磯地区の魅力を発信する二つの事業は継続していくことが大切と思います。
- ・新磯コンシェルジュの令和2年度の活動報告は、どこかで見る事ができます

か？インターネット上等に掲載でしょうか。

- ・全体像が分からないのですが、いずれにしても従来から全体会議において意見を聞いていたのに、今年は役員会で聴取したので、交付決定し実施したとのことですが、大切なのは今回の手続きが会則、交付要領等のコンプライアンス上の問題が生じていないか否かが多少心配です。
- ・相模原市をはじめ各地域の会議については、新しい生活様式のひとつとして既に書面会議、リモート会議等で対応していますので、本事業についても全体会議の書面会議でメンバーの意見を聴取できましたので、次年度に反映する意味を含めて、上記のコンプライアンス上の有無について教えていただきたいです。

議題5 令和3年度新磯地区まちづくり会議検討テーマについて

了承32件 反対0件

(意見)

- ・先進地とは具体的にどこでしょうか。本件は自治会会員拡大への取組とも関係しますので両案件ともに市の基本方針(条例、要綱、要領、契約書等)を今一度整理し、当該方針に従って実践することが大切だと思います。すでに出来上がって基本方針等のプログラムに従って地域住民の理解と協力で得られるよう、市のリーダーシップの下で関係者が目に見える形で実行・実践することで成果が得られると考えます。
- ・検討テーマ(災害時要救護者の支援活動等について)は特に昨今、地球温暖化が進み、台風等の自然災害発生が多くなっている状況から、新磯地区の地域団体との連携は必要不可欠で、しくみの構築は重要と思います。
- ・避難所の在り方についても、現下のコロナ禍において早急に解決すべき問題です。今にも質問したように「在り方」の具体的問題点が不明確ですが、行政庁の方ではしっかりした骨太の基本方針が出来上がっているはずですので、あとはその具体実践する上でのマニュアル、訓練、対象者、契約、内容等、個別かつ地道な努力、継続行動が必要な段階と思います。
- ・いずれにしても前回市の担当課とのコミュニケーションと実践のための擦り合わせが再度必要です。
- ・災害時の支援活動がテーマなのですが、災害予防として日々思う事があります。「鳩川」河川部分の管理についてなのですが、武井橋～下流側日枝神橋下流にある堰までのエリアが草が茂ってしまっています。犬の散歩でほぼ毎日のように通るのですが、春先までは捨てられた自転車が3台確認できました。その後草が生い茂り、自転車が撤去されたかは不明です。降雨により増水すると、水かさが増すのが早まったり、ごみが溜まり氾濫が早まったりしないか心配です。

議題6 さがみロボット産業特区プレ実証フィールド避難場所環境改善等の要望書
(案)の作成及び提出について

了承32件 反対0件

(意見)

- ・テーマ4の避難所指定について、新磯小を解消し、プレ実証フィールドを指定することについては、地域住民への周知提案する以前に自治会員等の住民へのアナウンスとコンセンサスを一定程度得とくことが大切だと思いますので、提出前までに新磯地域住民に対して周知しておくことも必要と考えますが。
- ・本提案書のクレジットは新磯地区まちづくり会議であって役員会ではないので、3副会長の連名は不要と思いますが。
- ・まず市担当者と十分コミュニケーションを取って理解してもらうことが重要です。芝ざくらの維持のケースが悪い例です
- ・要望書の中で「避難場所」と「避難所」の定義は理解しているつもりですが、今一表現が分かりづらいように感じました
- ・市内の小学校でも老朽化による雨漏り等の修繕を要請しても、なかなか受け取ってもらえないという話を耳にしました。常時使用をしている学校でさえその様な状態で、ましてや実験時にしか使用されない施設に予算を投じて下さるか心配です。敷地内外の通路清掃に関しては常に清掃員が1名働いておられるのを良く見かけます。実験以外での利用を増やし、利用者には都度トイレ清掃を依頼したり、自治会加入の有無関係なく、利用対象の地区からボランティアを募り、年2回位重点的清掃を行う等をしてもらいたいのではないかと思います。もっと地域の町おこしに使用する等して予算をもっと付けてもらえる施設になってほしい

議題7 新磯地区防災計画の修正について

了承32件 反対0件

(意見)

- ・やはりタイムスケジュールの作成が必要でした。修正(案)は誰が作成するのでしょうか。電子データがあれば、短時間でセット可能だと思います。
- ・基本的には市計画が出来上がっているのので、それをベースに新磯地区の特性を考慮しつつ、クロスチェックすればOKだと思います。車中泊についても全国レベルのテーマですので、市の意見を聞いて書きぶりが決まると思います。
- ・いずれにしても、14名のメンバーに計画を読んでもらい、理解してもらうことからスタートですので、現下のコロナ禍と会議の効率化の観点から事務局又は有志が修正(案)の見え直し版を作成し、全メンバーに郵送し修正意見をもらいより良いものにブラッシュアップすれば効率的かだと思います。必要であれば、メンバー外ですが私もコメント参加可能です。

- ・ ZOOM等で会議を行うことは不可能でしょうか？

その他意見1（芝ざくらの件）

- ・ 国交省の河川管理要領上も「もぐらによる穴の発生」は認められています。河川に相模原のように防草シートを使用している所もあります。従って再度県と防草シートの敷設について許可が得られる様に、市と住民が話し合うことが必要と感じます。
- ・ このまま何もしないと行政の過大すぎる程の安全確保策のため、芝ざくらが消滅してしまいましたが、その後の当該場所と隣接するハイキングロードはどのような状況になるか想像すると次の対応が必要と思います。土提及びハイキングロードの傾斜面の維持管理（カヤによる景観問題、防犯対策、業者委託費の増大）県厚木土木事務所はカヤ等の除草はしないはず。市の責任で業者委託すると400万円以上の保存会の委託を超える可能性有り。少なくとも現在の設備を現状回復しなければならないので、その工事費が大。市税のムダ使いにつながる？
- ・ 今や神奈川県観光スポットにも成長している。（県HP）県は中国、韓国、ブラジル、英語等外国人にもPRし、県としても世界にプロモーションしている。芝ざくらの花言葉「忍耐」、「希望」等生命力に由来し、現下のコロナ禍での住民の生活や気持ちと通じるところ大。
- ・ いずれにしても、現状を回復するかやむを得ず消滅となった場合の散歩道等の周辺環境の保全について現状から数年先を見越したスケジュールを作成してみることも有益と思います。

その他意見2（会議の進め方について）

- ・ 仮に次年度もコロナ禍で問題が続くようであれば、本会議も市が多く取り入れている書面会議で行うとともに、実質的に関係団体に持ち帰って十分意見を出せるようにするため、テーマ周知、中間報告、意見募集、決定プロセスの開示と周知を時間的余裕をもって行うことが大切です。

（結果）

全ての議題については、了承すべきものと決定しました。

新磯地区まちづくり会議委員名簿（令和3年度）

〔 : 会長 : 副会長 〕

No.	団体名・役職等	氏名
1	新磯地区自治会連合会 会長	◎ 穂 苺 健 二
2	新磯地区自治会連合会（自治会法人上磯部自治会連合会） 副会長	坂 井 一 由
3	新磯地区自治会連合会（自治会法人下磯部自治会連合会） 副会長	新 井 正 雄
4	新磯地区自治会連合会（自治会法人勝坂自治会連合会） 副会長	鈴 木 真 司
5	新磯地区自治会連合会（自治会法人新戸自治会連合会） 副会長	西 海 敏 夫
6	南区安全・安心まちづくり推進協議会新磯支部 副支部長	溝呂木 孝
7	相模原南交通安全協会新磯支部 支部長	中 村 大 義
8	相模原市消防団南方面隊第2分団 副分団長	井 上 英 樹
9	新磯地区社会福祉協議会 会長	□ 山 口 和 夫
10	新磯地区民生委員児童委員協議会 会長	□ 佐 田 昌 史
11	新磯地区老人クラブ連合会 会長	三 膳 節 勝
12	新磯地域包括支援センター センター長	早 田 榮
13	新磯観光協会 会長	岡 田 茂 利
14	相模の大凧文化保存会 会長	川 崎 勝 重
15	新磯公民館 館長	□ 幟 川 泰 夫
16	新磯地区青少年健全育成協議会 会長	曾 我 ユキ子
17	新磯地区健康づくり普及員協議会 代表	伊 藤 孜
18	青少年指導委員 代表	阿 部 和 夫
19	スポーツ推進委員 代表	飯 田 賢
20	新磯小学校PTA 会長	緑 川 由美子
21	相陽中学校PTA 副会長	島 田 大 輔
22	新磯商盛会 会長	藤 野 互 由
23	新磯地区みどり組合協議会 委員長	森 谷 安 男
24	相模原市農業協同組合女性会新磯支部 支部長	佐 藤 秀 子
25	新磯こどもセンター 館長	小 林 哲 也
26	相模原南児童ホーム 所長	曾 我 幸 央
27	新磯地区介護保険事業所等連絡会 代表	萩 原 正 晃
28	その他まちづくり会議が必要と認めた団体及び個人	神 成 信 之
29	その他まちづくり会議が必要と認めた団体及び個人	日下部 洋 吏
30	その他まちづくり会議が必要と認めた団体及び個人	金 子 孝 仁

31	その他まちづくり会議が必要と認めた団体及び個人	矢 田 智 信
32	公募委員	田 所 利 一